



第13回

Group goût

Gg展

2024.5.14(火)~5.19(日)

ふくやま美術館ギャラリー **入場無料**

開館時間 9:30 - 17:00 / 最終日 16:30 まで

主催：グループ・グー (Group goût)

後援：福山市 公益財団法人ふくやま芸術文化財団 ふくやま美術館 エフエムふくやま 尾道エフエム放送 中国新聞備後本社

ちゅピCOM ひろしまインターネット美術館 広島テレビ 広島ホームテレビ 株式会社尾道新聞社 協賛：ガレリア・レイノ 助成：エネルギー文化・スポーツ財団

能登半島地震の衝撃

今年の元旦に起きた能登半島地震には驚かされた。

家族で団楽していた時に突然アラートが鳴り、震度7の速報が伝えられた。テレビを点けると、珠洲市の家屋倒壊や輪島市の火災の痛ましい状況が映しだされた。

穏やかに正月を迎えていたなかで建物の下敷きとなり家族を亡くした、電気水道が止まって多くの人々が寒さに震え、厳しい生活を強いられているとの情報も流れてきた。

アート関連でも、輪島市の石川県輪島漆芸美術館や七尾市の石川県能登島ガラス美術館の展示作品、珠洲市の奥能登国際芸術祭の常設作品がかなり破損し、輪島市の總持寺祖院の文化財が被災したとの報道もあった。

大きな自然災害を前に私たちは為す術がないことに胸が痛んだ。出来る限りの事前対策しかないのだろうか。

そんななかで輪島塗の作家たちが被災を免れた漆芸品で販売会を催すなど復興への動きも少し見え始めてきた。

阪神・淡路大震災から29年目の1月17日、神戸市の公園で犠牲者追悼の灯籠が「ともに」という文字の形に並べられたという。「ともに」という文字には能登半島地震の被災者に寄り添いたいという意味が込められていた。

私たちアートに関係する人間も、自分の立場で何かができるだろう。

今年のGg展は、14人のアーティストの展示となる。各アーティストが作品の寸法や形式、点数など制約なしに発表できる貴重な場である。一人では力が弱い、ゆるい結びつきでもまとまると発信力が高まる。互いを規制せずに「ともに」歩むことができる場である。それは自分のためだけでなく、他者のためにもなるだろうと思いつつ。

谷藤史彦（一般財団法人下瀬美術館 副館長）

*Gg展は、2012年に高地・渋谷・長谷川・和田の4人によって結成され、仲間を増やしつつ活動を続けるグループ・グー(Group goût)の展覧会である。

1 板倉 文香

《Ghost》

2 岡 孝博

《RAIL WORKS XII》

3 高地 秀明

《風のゆくえ》

4 酒井 一樹

《巨大なクジラ》

5 渋谷 清

《GOTHIC》

6 菅原 瑤子

《禊》

7 瀬尾 佳枝

《水玉》

8 田窪 薫

《顔よ、2023》

9 橋野 仁史

《Schliere》

10 長谷川 雅敏

《雨上がり》

11 花岡 寿一

《ヤサシク》

12 牧原 竜浩

《福山城 (2024)》

13 横田 招

《Ren23-3》

14 和田 道雄

《Koinobori×Fujin2023-05》



1



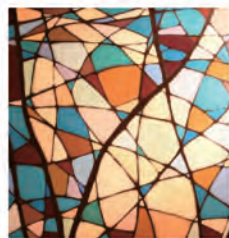
2



3



4



5



6



7



8



9



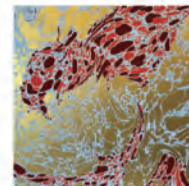
10



11



12



13



14

【出品作家によるギャラリートーク】

○日時/5月18日(土) 14:00~15:00

○場所/ギャラリー内



【缶バッジを作ろう!】

○日時/5月18日(土)・19日(日)

13:00~14:00

○場所/ギャラリー内

○申し込み不要。

材料がなくなり次第終了。



○第13回Gg展〈入場無料〉

○会期/2024年5月14日(火)~5月19日(日)

○開館時間/9:30~17:00 [最終日は16:30まで]

○会場/ふくやま美術館ギャラリー

〒720-0067 広島県福山市西町2丁目4-3

○問い合わせ先/グループ・グー代表

和田道雄 090-4142-9881

【出品作家の情報、展示案内などはこちら】

○展示やイベント等の変更はこちらから確認できます。

